

2023 年 1 月 30 日
国立大学法人東京藝術大学
株式会社 AD ワークスグループ

**東京藝術大学美術学部と AD ワークスグループ、
「AD ワークスグループ『日本画』賞」を創設**
～才能ある「日本画」作家の創作活動を支援し、社会貢献をめざす～

国立大学法人東京藝術大学（東京都台東区、学長：日比野 克彦、以下「東京藝術大学」）の美術学部（学部長：光井 渉）と AD ワークスグループ（東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：田中秀夫、以下「ADWG」）はこのほど、「AD ワークスグループ『日本画』賞」（以下「本賞」）を創設いたしました。

次世代の日本画界を担う才能のある作家を選考し、奨励金を授与して表彰するとともに、その創作活動を 2 年にわたって支援します。

日本画の伝統継承と発展に寄与することを通じて、社会貢献をめざします。

1. 「AD ワークスグループ『日本画』賞」3 つの特徴

① 39 歳までを対象とし、2 年間継続支援

東京藝術大学美術学部を卒業又は同大学大学院美術研究科を修了した 39 歳以下の、日本画創作活動を継続的に行っている方の中から、しかるべき審査手続き（「3.審査・創作・出品のプロセス」参照）を経て大賞 1 名、特別賞 1 名を選出します（対象は「作品」ではなく「人」）。大賞は賞金 50 万円/翌年に活動支援金 25 万円、特別賞は賞金 30 万円/翌年に活動支援金 15 万円を授与、2 年間にわたって創作活動を継続支援します。



東京藝術大学 美術学部長 光井 渉（左）
AD ワークスグループ代表取締役社長 CEO 田中 秀夫（右）

② 「日本画」の定義を柔軟に設定

日本画の定義や境界線は比較的曖昧であると言われております。そこで、日本画の優れた作家を輩出している同大学美術部の日本画研究室・デザイン研究室・保存修復日本画研究室から推薦された方が創作する作品を、本賞では「 」付きで「日本画」と呼ぶものと定義いたしました。

③ 「AD ワークスグループ『日本画』展」（仮称）への出品

また各受賞者には「AD ワークスグループ『日本画』展」（仮称）に出品する権利を付与します。活動のための資金的支援のみならず、発表の場を合わせて提供するという趣旨です。

2. なぜ日本画なのか

今般の新たな賞の創設にあたり、日本画というジャンルに絞った理由は以下の通りです。

ADWG は、前身が渋沢栄一も設立に関わった染物事業者（明治 19 年、青木染工場）であり、その技術を積極的に海外展開するなど、日本文化の一端を担った経緯があります。そうした流れに鑑み、日本文化の伝統継承に寄与するべく、まずは日本画というジャンルを選択したものであります。

3. 審査・創作・出品のプロセス（予定含む）

2023 年	1 月下旬	東京藝術大学美術学部の日本画研究室・デザイン研究室・保存修復日本画研究室より推薦
	2 月初旬	選考委員会にて、大賞 1 名・特別賞 1 名を決定、「AD ワークスグループ『日本画』展」（仮称）出品に向けた創作活動開始
	4 月上旬	授賞式（於：東京藝術大学美術学部長室）
	～11 月	創作
2024 年	1 月下旬	「AD ワークスグループ『日本画』展」（仮称・詳細未定）開催

以上

本件に関するお問い合わせ：

株式会社 AD ワークスグループ

広報室 高場

ディスクロージャー統括室 山口・中家

E-mail：pr@re-adworks.com